

令和8年上半期分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和8年上半期分について、輸出は「船舶類」などが減少したものの、「自動車」、「その他の化学製品」などが増加したことから対前年同期比7.6%の増加となった。また、輸入は「航空機類」などが減少したものの、「自動車」、「金属加工機械」などが増加したことから、同0.3%の増加となった。
その結果、差引額は14,469億円（同10.6%の増加）となった。

区 分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差引額（▲は輸入超過）	伸 率
三河港	19,803億円	+7.6%	5,334億円	+0.3%	14,469億円	+10.6%
	2期連続の増加		3期連続の増加			

			概 況 品 名	金 額	伸 率				概 況 品 名	金 額	伸 率
輸 出	増加品目	(1)	自動車	19,215億円	+8.4%	輸 入	増加品目	(1)	自動車	4,716億円	+0.6%
		(2)	その他の化学製品	185億円	+12.9%			(2)	金属加工機械	12億円	+446.9%
		(3)	石油製品	56億円	+24.4%			(3)	有機化合物	19億円	+27.5%
	減少品目	(1)	船舶類	0億円	▲100.0%		減少品目	(1)	航空機類	13億円	▲61.5%
		(2)	鉄鋼	127億円	▲15.0%			(2)	鉄鋼	201億円	▲8.0%
		(3)	プラスチック	26億円	▲27.4%			(3)	粗鉱物	11億円	▲55.2%
	地域別動向		北米、中南米が増加、中東欧・ロシア等は減少				地域別動向		アジア、中南米が増加、西欧は減少		

（参考）ドルレートは、157.75円（前年同期比5.5%、8.28円の円安）であった。
注）令和8年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。
注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。